



漢字名：蒼鷹
タカ目／タカ科

レア度 ★★★★★

大きさ 全長 ♂50cm ♀56cm

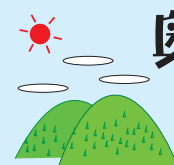
なき声 「ケッケッケッ…」

特徴 雌雄ほぼ同色。成長雄は頭から上面が暗青灰色で眉斑あり。下面は白く横斑が目立つ。成鳥雌は褐色気味。

👁️メモ 小型の鳥類やネズミ、ウサギなどを狩り餌としている。繁殖期以外は1羽で行動。鷹狩りに用いられる種の1種。

👁️ どこで観察できる？

国内 九州以北では留鳥。平地から山地の林の他、河川、農耕地、湖沼など
奥多摩 奥多摩湖などの開けた場所や御岳山で目撃されている。



★ 雨の日登山の注意点



東京都 奥多摩ビジターセンター

URL : <http://www.okutama-vc.com/>
住所 : 東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1
電話 : 0428-83-2037

🌿 公益財団法人 東京都公園協会

お客様サポートセンター（協会の事業全般に関するお問い合わせ）
電話 : 03-3232-3038 ※8:30~17:30（土日・祝日・年末年始を除く）

📖 雑学コーナー

集中豪雨の傷跡から見えるもの

平成16年7月11日に奥多摩地域で集中豪雨があり、川苔山の南側にあるウスバ尾根と大ダワの間で大規模な土砂崩落が発生しました。この崩落により、町内の水道取水口がふさがれてしまい、町民の生活にも影響がありました。

その後、崩落地は工事されたものの、崩れやすいため崩落地を通る登山道は現在も通行止めが続いています。



土砂崩落の現場
撮影日時：2004/08/18

この崩落は単に集中豪雨だけでなく、シカの食害などによる山の裸地化が原因といわれています。

このような問題に対して東京都はシカの保護管理計画を策定し、シカの頭数管理

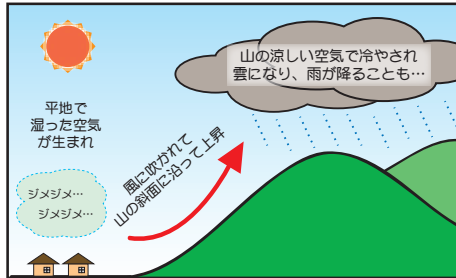


シカ柵

やシカ柵設置、治山事業などを実施することで人とシカが共存できる豊かな森を目指しています。

山の天気は変わりやすい

平地などで発生した湿った空気は風により山の斜面に沿って押し上げられると、山の冷涼な空気にさらされて、雲になり雨を降らせることがあります。山の天気が変わりやすいといわれる理由は、複雑な山の地形と風向き、そして低い気温により、上昇気流や下降気流が生まれ雲ができたりなくなったりを繰り返すからです。



雨の備えは重要

登山中、急に雨に降られても大丈夫なよう、雨の日に限らずに必ず対策を行きましょう。

雨の日装備の例



雨の日装備一覧

- ・**レインウェア(必須)**
上下別々に分かれ透湿防水性に優れたものがオ
- ・**インナー(必須)**
汗を素早く乾かす速乾性のものがオススメ。
- ・**ザックカバー(必須)**
ザックの中を濡らさないように被せましょう。
- ・**スパッツ(必須)**
レインウェアの内側に付けるか外側に付けるか状況次第です。
- ・**ヘッドライト(必須)**
雨天時の薄暗いときに足元を照らしましょう。
- ・**防水手袋**
雨風で手先が冷える場合に。
- ・**帽子**
撥水加工されたものがオススメ。

ザックの中も整理整頓

急な雨が降ってきても素早く対応できるように、ザックの中身は出し入れしやすいようにパッキングしましょう。地図など濡らしたくないものはチャック付きのビニール袋などに入れ防水対策をしましょう。



A. 頻りに使うもの

地図、ヘッドライトなどよく使うものは、雨蓋に入れておくとザックを開ける手間が省ける。

B. 休憩時に出すもの

救急セットや行動食を入れる。休憩時に取り出すものをB.に入れておくと出し入れが楽に。

C. 使う可能性があるもの

防寒具や雨具、ザックカバーなどを入れる。**不安定な天気の時**はB.とC.を入れ替えて対応する。

D. 重たいもの

バーナーや調理器具、食料など重たいものは背中側に入れると重心が安定し、歩きやすくなる。

E. 行動中に使わないもの

小屋での着替え、ツェルト、洗面用具など行動中に使わないものはザック下部へ入れる。

F. 行動中に出したものの

行動食やコンパス、ハンカチなど移動中に使いたいものを入れておくと、とり出しやすく便利。

雨の日の注意点

雨の中の登山は危険が伴います。雨が強い場合には登山口に引き返したり、避難小屋で休憩し、雨が止むのを待つなど、臨機応変な判断が必要になります。ここでは雨の日の注意点を紹介します。

足元注意

濡れた岩の上や浮き石、苔に覆われた木橋や木の根っこ、ぬかるんだ登山道など、晴れている時よりも滑りやすくなるため転倒や滑落に繋がる危険性があります。歩幅を狭くし、足の置き場に注意しましょう。



濡れた岩場

増水・土砂崩落

降水量が多いと増水し登山道が水没し通れなくなることがあります。また、雨水と共に土砂が流れだし崩落することや、鉄砲水が発生し沢の流れが濁流に変わる危険性もあります。天候が悪化し、雨足が強くなる場合は無理をせず、登山を中止し下山しましょう。



沢沿いの登山道

視界の悪化

雨や霧など天候が変わると日差しが遮られ、薄暗くなります。日没が迫るとより一層暗くなるため、防水機能があるヘッドライトを準備しましょう。出発前にライトがつくか確認をし、予備の電池も準備しましょう。



霧がかる登山道

低体温症

服が濡れて体温が低下すると、手足の麻痺やふるえ、判断力の低下、筋肉が硬直し死に至ることもあります。体を濡らさないことが重要であり、休憩する際は雨や風をしのげる場所を利用しましょう。また、行動食などを食べ、体温が低下しないように注意しましょう。



避難小屋